



さんよう広場



平成30年1月 第37号

あけましておめでとうございます

病院長 森田 須美春



ライフシフトという本が話題になっていて人生100年時代と提唱しています。今、日本で100歳を超えた人は約70000人ですが、2050年には100万人と予想し、また2007年生まれの子供の半分は107歳まで到達するとも書いています。

これまでの私たちの人生は教育の時代、仕事の時代そして引退後とスリーステージモデルが一般的であったのですが、人生100年となると、このままでは引退後の期間が30年、40年になるので生き方、人生設計を変える必要があると論じています。

今どきの70歳、80歳は元気ですが、いつの日か今どきの90歳、100歳は元気だと言っていることです。長く仕事をするのも一つですが、仕事を2つ、3つ持ったり50歳で仕事を変えたりというのもありかもしれません。もう一回勉強したり、いっぱい趣味を楽しんだりいろいろな生活も選択できます。社会も変わらないとやっていけなくなるでしょう。

これまで高齢化社会といえば2025年問題とか、終活、エンドオブライフと高齢者の終わり方ばかりがテーマとなっていました。胃ろうや救命治療の是非については人間の尊厳という言葉が強調されています。ついには病院なんか行かなくていい、在宅で看取りをしましょう。こんな最期を決して否定するものではありませんが、最期の迎え方についての議論はもういいでしょう。ましてや誘導するものではないと思います。

人生の主人公は自分自身です。明日から人生100年とはいきませんが、自らが思っているよりまだたくさん時間があるかもしれません。

“早くお迎え来ないかな” そんなこと言わないで下さい。

“まだまだやれる、前より少しでもましなように、もっと大きくなりたい”と今より良い生き方、前へ進む生き方も自ら探すべきです。

病院も同じです。高齢者の看取りや人間の尊厳というものを忘れてはなりませんが、一方で高齢だからと年齢で線を引くことのないよう、その人の人生の足を引っ張らないよう医療に全力を尽くさなければならないと思っています。

国は早速に人生100年構想会議なるものを開催しています。超長寿社会を迎える中で、国民みんなが活力をもって生活できるように、世界の先駆けとして根本的な国の制度、社会システムを作り上げてほしいと思います。こんなこと言ったら怒られますが、“言葉だけの改革”ではなく、これからの日本の存亡をかけた“本気の改革”が求められていると強く思っています。

皆様、今年もよろしくお願い申し上げます。



看護部長ご挨拶

明けましておめでとうございます。

看護部長の中張です。前合田看護部長より引き継ぎ早いもので4ヶ月になります。まだまだ未熟でこれからですが、温かく見守っていただけたら幸いです。

昨年は、2月に電子カルテを導入し、最初は患者さま・ご家族さまを見るより、パソコンを見ている時間の方が長くご迷惑をおかけしましたが、軌道に乗ってきました。今年は4月に診療・介護報酬の同時改定、更には2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築、また2年前より看護師の特定行為研修制度が開始され、研修を修了した者は特定の医療行為とケアが出来るようになってきており、私たちの周りも様々な変化がみられます。われわれが担う部分は非常に大きく、それに伴い力もつけていかなければいけないと思っています。しかし、何が変わろうとも患者さまが常に中心にいることを忘れることなく考え、看護・介護をさせていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

看護部長 中張 さゆり



シニアアドバイザー就任のご挨拶

明けましておめでとうございます!シニアアドバイザーの合田洋子です。

16年4か月間の三木山陽病院の看護部長を昨年退任し、9月から外来フロアでシニアアドバイザーとして勤務しています。シニアアドバイザーとは「三木山陽病院、医療人の先輩として患者さまやご家族、職員に少しでもお役にたてることを目的としています。」4か月を経て今は、患者さまが病院の入口に来られた時からお帰りになられるまで、「あたたかな、おもてなし」が出来ることを最優先して外来をウロウロしています。何か気になること、お困りなこと等あれば気軽にお声をかけて下さい。その場で解決できることばかりではありませんが、病院職員と一緒に対応させていただきます。今回、患者さまに直接関わる仕事になり体力面では大変ですが、看護師として、介護してきた家族としての経験が役に立っています。新たな人生の再出発になるよう頑張っていきたいと思っています。

シニアアドバイザー 合田 洋子



『第3回さんサン健康ひろば』が開催されました

11月12日(日)に第3回『さんサン健康ひろば』を開催しました。

390名を超える多くの方にご来場頂きました。血液検査、骨密度測定やABI検査、医療相談などに加え、今回はロコモ判定やAED説明などを新たに増やしました。院長の講演やクイズラリーにも多くの方が参加され、アンケートでは多くのご意見を頂くことができました。

ありがとうございました。



院長講演



血液検査
ブース



介護相談
ブース



サンスマイル喫茶



子供調剤
体験ブース



健康体操



作品展示



AED説明

敬老会

今年の敬老会では、保育園児のダンス＆歌でほほえましく楽しい時間を過ごし、「みきノコギリ」さんによるノコギリ演奏を聴かれ、「ノコギリで!？」とおどろきもありましたが、とってもすてきなメロディーでした。

スタッフのみんなも歌を歌いました。最後には“紙ひこうき”を飛ばして、とても素敵な場面が見れました。

患者様の皆様もとっても楽しかったと笑顔があふれていました!!



糖尿病教室の報告

12月21日(木)【年末・年始の過ごし方】をテーマに糖尿病教室が開催され132名の方にご参加いただきました。

講演・体操と盛りだくさんの内容でしたが、昼食をはさみ終始和やかな雰囲気の中、皆さまに楽しんでいただけたのではないかと思います。

定例の糖尿病教室は、申し込み不要となっています。

どうぞお気軽にご参加ください!



スタッフ手作り弁当
エネルギー535Kcal
野菜150g以上使用

病院クリスマスコンサート

12月2日クリスマスコンサートを開催いたしました。中原加奈さんのとても美しい歌声と森麻衣子さんによる素敵なピアノ演奏、コアラハッピーベルさんのクリスマスにぴったりのハンドベルの音色による一体感のあるやすらぎの演奏、TETSUYA&畑やすこさんによる華やかな演出、どのプログラムも大変盛り上がりしました。多くの観客の皆様にお越しいただき、最後に全員でクリスマス曲を歌ったりなどとても楽しい時間となりました。



インフルエンザについて

今年度もインフルエンザの流行期になりました。

当院では12月初旬より「高感度インフルエンザ測定器」を導入しております。これまでよりもウイルスを迅速かつ高い検出性能で見つけ出すことが可能となりました。それにより診療効率の向上や患者様の負担軽減に繋がると考えております。ただし、改善されたとはいえ、発症初期の検査では、検出が不十分で陰性と判定されることがあります。念の為、時間をおいて再検査をして頂くことが必要な場合もあります。まだまだ流行期にありますので従来同様、手洗い・うがい・不要な外出を避けるなど予防に努めて下さい。



アクセスMAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

URL <http://www.hoyukai.or.jp>

E-mail info@mikisanyo-hp.com

